

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている細胞診標本と病理組織標本を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている細胞診標本および病理組織標本を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

唾液腺細胞診に関する多施設共同研究「世界標準の画期的な国内唾液腺細胞診報告様式の提案」

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院病理部

【研究責任者】 福島万奈（病理部 講師）

【研究代表者】 樋口佳代子（沖縄協同病院病理診断科 医師）

【研究の目的】

過去に受診された唾液腺腫瘍患者様の細胞診標本と組織標本を見直し、新しい診断報告様式で再診断します。旧分類と比較することにより、新しい診断報告様式の有用性について検証します。

この研究は、治療方針に基づく新たな唾液腺細胞診断の報告様式の検討を目的としたものであり、今後の診療に役立つことができると考えています。

【研究の方法】

2009年4月から2019年3月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち唾液腺腫瘍にて唾液腺穿刺吸引細胞診が実施され、その後組織診断の確定した患者様。

（利用するカルテ情報）性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等

（利用する試料）通常の診療で使用した後に残った細胞診標本および病理組織標本

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータ/試料は、匿名化されて、CD-R に保存した電子ファイルを郵送することによって沖縄協同病院に送られます。また細胞診断と組織診断の不一致例については、診断を再検討するため、沖縄協同病院または他の共同研究施設である藤田保健衛生大学や東京医科大学に、匿名化したガラス標本を提供することがあります。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

＜試料・情報の管理責任者＞

愛媛大学附属病院病理部 福島万奈
沖縄協同病院病理診断科 樋口佳代子

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院病理部 福島万奈
791-0295 愛媛県東温市志津川
Tel: 089-960-5622